

図書館には、町の郷土資料を収集するという役割があります。図書館で収集している郷土資料は、歴史・地誌・民俗を中心とした資料（郷土資料）、また企業・団体・学校・グループ・個人の刊行物（民間資料）です。

郷土資料というのは、町を知るうえでとても貴重なもので、今日的課題解決にも必要不可欠な資料ということもあり、図書館は積極的に収集しているところです。

図書館では様々な郷土に関するものを収集していますが、あんどん祭りの時に出ているうちわやポスター、また町内向けのチラシや今はない幼稚園の封筒など一見すると郷土資料に見えないものも収集しています。

郷土資料は数が少なかったり再版不可のものもあるため、基本的には閉架書庫に置いていますが、必要であれば書庫から出して読んだり見ることが可能です（禁帯出以外の本は貸し出し可能です）。

このように図書館では様々な郷土資料を集めていますが、図書館にない資料もまだあります。ご家庭にある資料が図書館にも所蔵のない貴重なものであることもありますので、もし家で眠っている郷土資料や民間資料がありましたら、ぜひ図書館にお声がけください。



新刊図書

《一般書》

歩道橋シネマ	恩田 陸
自由は死せず	門井 慶喜
せき越えぬ	西條 奈加
後家殺し	山本 一力
老人ホームのお金と探し方	小嶋 勝利
8050問題	黒川 祥子
82年生まれ、キム・ジョン	チヨ・ナムジュ
中国の見方がわかる中国史入門	福村 国春

《児童書》

ゆきみちさんぽ	えがしらみちこ
はるかぜさんぽ	えがしらみちこ
空に向かって走れ！	小手鞠 るい
空手、はじめます	くすのきしげのり
はじめまして、茶道部	服部 千春
たまたまたまご	北村 裕花
なんと！ようひんてん	石川 基子
ふゆとみずのまほうこおり	片平 孝
食虫植物のわな	木谷 美咲

新刊図書おすすめ!!

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』
ブレイディみかこ



大人の凝り固まった常識を、子どもたちは軽く飛び越えていく。世界の縮図のような「元・底辺中学校」での日常を描く、落涙必須のノンフィクション。連載中から熱狂的な感想が飛び交った、私的で普遍的な「親子の成長物語」。

『10歳から知っておきたいお金の心得』
八木 陽子



お金の使い方だけではなく、お金の稼ぎ方や社会・人との関わりかた…。お金について学ぶことは、社会の見方を考えるキッカケ。大人になった時、生き方が大きく変わる一冊。

家から図書館の本を検索しよう

図書館にある本をインターネットで検索できるようになっています。検索は、沼田町教育委員会のブログのリンク集からどうぞ。

<https://blog.canpan.info/numakyoui/>

